# 環境制御システム等の導入による省力化及び収量増

### ①経営体の概要

〇 所 在 地:長崎県雲仙市

〇 経営体名:立石バラ園

○ 栽培作物:バラ(70a)

〇 従業員数:家族5人、常勤1人、実習生(中国)2人

### ②導入技術・システム(商品名・サービス名と企業名)

- 統合環境制御盤 (株)ニッポー:ハウスナビアドバンス
- 〇 炭酸ガス局所施用 フルタ電気(株)
- 〇 自動換気 フルタ電気(株)

## ③導入の経緯

○ 様々なデータを見える化し、ハウス内の環境とりわけ温度及 び炭酸ガス濃度を適切に管理するためにハウスナビアドバン スを含めた環境制御装置を導入。





#### ④導入に当たり活用した補助事業等(国、県)

〇 次世代施設園芸拡大支援事業(国)

## ⑤導入してどうだったか(その1 導入前との比較、効果)

- 導入して間もないがその効果は非常に大きく具体的な結果も あらわれている。例えば収穫本数が増加(概ね3%増)し、L以上 の上位階級率も増加(概ね7%増)。
- ハウス内環境を自動で制御できるので導入前と比べ換気等 に係る労力が減少。
- 今後より効果的な栽培管理を行うため、日射データを蓄積し、 天候に適応した自動かん水施設の導入を計画するとともに、温度、湿度といった基本情報以外の様々なデータがとれるようになり、今後の栽培管理に応用していく可能性も模索。

# ⑥導入してどうだったか(その2 改善してほしい点、課題)

○ 炭酸ガス局所施用は効果があるが灯油を使用しているため ランニングコストの負担が大きい。